

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	重症新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者に対する腹臥位療法の効果
研究責任者	千葉 康平
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	概要: 重症肺炎患者への呼吸リハビリテーションのひとつとして腹臥位療法があります。厚生労働省が発行した「新型コロナウイルス感染症COVID-19 診療の手引き 第5.1版」においても重症COVID-19患者への腹臥位療法を推奨しており、当院でも実施しています。新型コロナウイルス肺炎患者への腹臥位療法は過去の研究結果から効果があると考えられていますが実際に新型コロナウイルス肺炎患者に対して腹臥位療法を実施した研究報告は少ないです。そこで今回の研究では腹臥位療法実施前後の新型コロナウイルス肺炎患者の呼吸機能を把握し、今後の治療方針に役立てるべく、後方視的研究を計画致しました。
研究方法	対象:2020年4月～2021年11月に当院に新型コロナウイルス肺炎で入院され、人工呼吸器管理期間に腹臥位療法を実施した24例を対象としております。 研究方法:診療録より患者さんの背景や入院期間、挿管期間、呼吸機能指標等を解析致します。 倫理的配慮:個人情報保護には匿名化を徹底し、十分な配慮を行った上で解析を行い、論文にて発表します。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究へ参加を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加の途中での辞退も可能です。参加を希望されない場合でも不利益を被ることは一切ありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター リハビリテーション技術課 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:千葉 康平 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604